

科目名称	情報処理学Ⅱ				ビジネス・キャリア	(○)	オフィス情報	(○)	
英文科目名称	Data Processing Ⅱ				グローバル・コミュニケーション	(○)	医療事務・医療秘書	(○)	
科目コード	531840	授業形態	講義	単位数		2			
教員氏名	山本 浩貴		年次配当	1年次	後期	ホテル・観光	(○)	大学編入	(○)
実務経験教員担当	(有)・無		アクティブラーニング		(有)・無				
授業概要及び授業方法	<p>前期の情報処理学Ⅰを引き継いで、コンピュータ技術だけでなく、情報技術の活用分野である経営戦略やマーケティング、関連分野まで総合的に学習する。国家試験であるITパスポート試験、文科省後援の情報活用検定2・3級資格取得を目指す。ITパスポート試験は情報処理資格の中で、一般の事務担当者などのエンドユーザを対象とした試験で、企業活動の中でいかに情報技術を活用することができるかを評価する資格である。社会的評価も大きいので、学生時代にぜひ取得してほしい。情報化時代、eビジネス全盛の現在、一般企業人としての情報スキルをアピールする最も大きな資格である。授業ではアクティブ・ラーニングの一種であるTBL (Team-Based Learning) を活用してチーム学習を一部取り入れて学習する。自己の学習だけでなく、コミュニケーション能力の向上も目指す。</p>								
関連する科目	情報処理額Ⅰ (情報処理学Ⅰを受講していること)				卒業認定(学習成果)との関連				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. データベース：関係データベースの仕組み 2. 関係データベースの操作 3. システム開発：アルゴリズムとプログラミング 4. システム開発技術 5. マネジメント 6. 企業と法務：企業組織と業務分析 7. 知的財産権と関連法規・情報倫理 8. 経営戦略：経営戦略とマーケティング 9. ビジネスシステム・eビジネス 10. システム戦略 11. ハードウェアのまとめ 12. ソフトウェアのまとめ。情報活用検定2・3級対策 13. ネットワークのまとめ。情報活用検定2・3級対策 14. ITパスポート試験対策1 15. ITパスポート試験対策2 								
授業時間外の学習	復習を重点的に学習して欲しい。1時間程度は復習して欲しい。								
授業の到達目標	社会人として求められる情報分野の基礎力を身に付けることを目標とする。その証明として、ITパスポート試験（国家試験）、情報活用試験2・3級（文科省後援）合格を目指す。								
課題に対するフィードバック	学習状況により指導する。				評価方法・基準		授業中の小テスト・課題提出(100%)で評価する。		
テキスト	「身につく！合格！ITパスポート」 (株)インフォテックサーブ								
参考書	別途指示する								
備考									